

当事者も家族も 楽になる

～2つのポイント～

受講無料

定員 **60** 名

当事者・ご家族の方優先

2025年 **11**月**16**日 日

時間 13:30-15:30 (開場13:00)

会場 石川県リハビリテーションセンター
4階 大研修室 (金沢市赤土町ニ13-1)

内容 ◆第1部 講演
◆第2部 当事者、家族による座談会

交通事故や病気によって脳にダメージを受けると、忘れっぽくなった、集中できなくなった、段取りが悪くなった、怒りっぽくなった、やる気がない等、さまざまな症状が現れることがあります。このような障害を高次脳機能障害といいます。今回は、当事者とご家族双方が楽になるポイントについて、当事者の視点から語っていただきます。

講師プロフィール

◆1973年千葉県生まれ。子供や女性、若者の貧困問題をテーマにした取材活動をし『最貧困女子』(幻冬舎)、『ギャングース (漫画原作・映画化)』(講談社)、『老人喰い』(ちくま新書・TBS系列にてドラマ化)などを代表作とするルポライターだったが、2015年に脳梗塞を発症して高次脳機能障害当事者に。その後は高次脳機能障害者としての自身を取材した闘病記「脳が壊れた」「脳は回復する」(いずれも新潮社)や夫婦での障害受容を描いた「されど愛しきお妻様」(講談社)などを出版。2020年、援助職向けに書き下ろした『脳コワさん支援ガイド』(医学書院・シリーズケアをひらく)にて日本医学ジャーナリスト協会賞大賞受賞。近刊に『ネット右翼になった父』(講談社現代新書・新書大賞2024・5位)『貧困と脳 働かないのではなく働けない』(幻冬舎新書)など。



文筆業・ルポライター
鈴木 大介氏

＼当日参加できない方は…/
後日、**オンデマンド配信**で
講習会を視聴できます

配信期間 12/8 (月)～12/26 (金)

視聴方法 申込受付後、視聴用URLをお知らせいたします

問合せ先および申込方法

※来場／オンデマンド配信 どちらの場合も申込が必要です

問合せ先 石川県高次脳機能障害相談・支援センター ☎076-266-2188 (FAX:076-266-2864)
✉iprc@pref.ishikawa.lg.jp

申込方法 下記のいずれかの方法により、**11月13日(木)まで**にお申込みください

■石川県電子申請システム ▶ 申込QRコードより必要事項を入力しお申込みください

■電話・FAX・メール ▶ 上記問合せ先へ直接お申込みください

申込QR



主催 石川県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会 (NPO法人高次脳機能障害患者と家族の会つばさ・石川県リハビリテーションセンター)

後援 石川県医師会、石川県看護協会、石川県理学療法士会、石川県作業療法士会、石川県言語聴覚士会、金沢パイロットクラブ、北國新聞社、北陸中日新聞

2025年11月16日 (日)開催

石川県高次脳機能障害リハビリテーション講習会

参加申込書

申込先：石川県高次脳機能障害相談・支援センター
(FAX:076-266-2864)

連絡先：_____

区分（○をつけてください）	氏名	所属（支援者のみ）
当事者・家族・支援者		
当事者・家族・支援者		
当事者・家族・支援者		

ご記入いただいた個人情報は、本講習会のみを使用し、同意なく第三者に提供することはありません。なお、参加申込をもって受講決定とし、受講いただけない場合のみ連絡いたします。

会場案内

石川県リハビリテーションセンター
〒920-0353
金沢市赤土町ニ13-1
(済生会金沢病院 横)

